

第22回
群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会
【安全性】

令和3年8月30日

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所
群馬県 県土整備部

目 次

1. 事故ゼロプランの経緯	2
2. 群馬県の事故状況	7
3. 事故ゼロプラン整備効果	10
4. 事故ゼロプラン(3巡目)のすすめ方	15
5. 事故危険区間の抽出	16
6. 交通安全対策に関するトピック	25
7. 次回委員会について	27

1. 事故ゼロプランの経緯

① 本委員会の経緯

【主な議題】

第1回委員会(平成17年11月)	◆安全性向上区間選定の考え方整理
第2回委員会(平成18年3月)	◆安全性向上を図るべき区間案の選定
第3回委員会(平成18年6月)	◆安全性向上を図るべき区間決定(交通安全みえる化プラン)
第4回委員会(平成19年10月)	◆新データでの新たな安全性向上区間の選定
第5回委員会(平成19年12月)	◆新たに安全性向上を図るべき区間決定(新・交通安全みえる化プラン)
第6回委員会(平成20年9月)	◆H20事故危険箇所選定

『群馬県事故ゼロプラン1巡目』

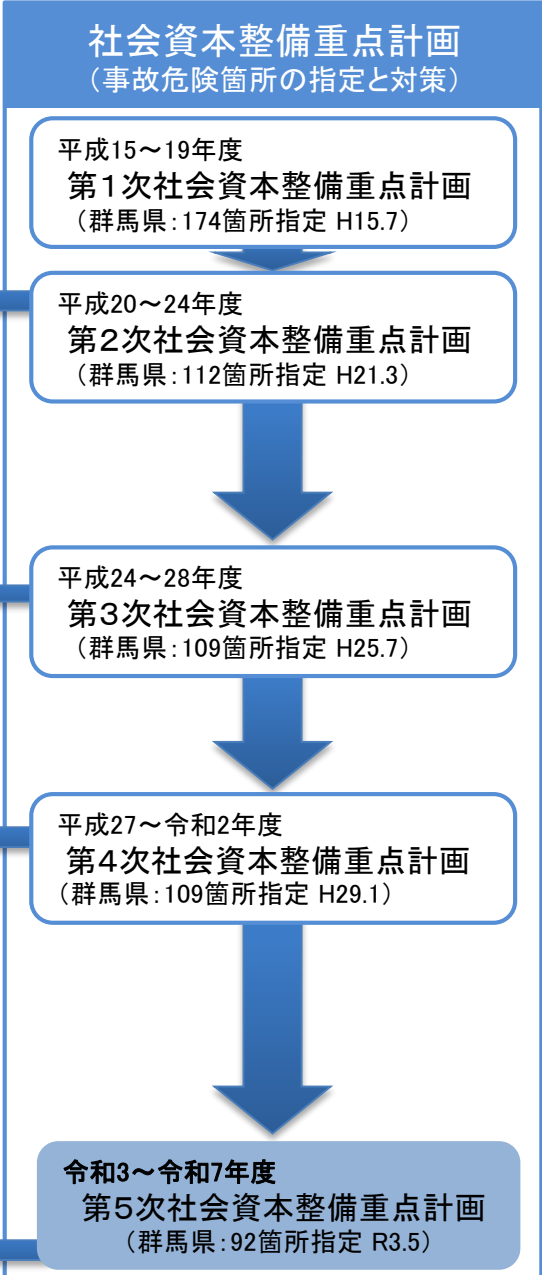
第7回委員会(平成22年10月)	◆「事故危険区間」の選定方針
第8回委員会(平成22年12月)	◆「主な事故危険区間」の確定(83区間)
事故ゼロプラン 主な事故危険区間公表(平成22年12月)	※第9～12回:「移動性向上」だけの議題で開催
第13回委員会(平成26年9月)	◆1巡目の進捗状況、事故危険区間の追加区間
第14回委員会(平成27年10月)	◆1巡目のまとめ

『群馬県事故ゼロプラン2巡目』

第15回委員会(平成28年8月)	◆2巡目のすすめ方
第16回委員会(平成29年1月)	◆事故危険区間の抽出
第17回委員会(平成29年7月)	◆2巡目の公表、1巡目対策区間の整備効果
第18回委員会(平成30年8月)	◆1巡目対策区間の整備効果、2巡目対策区間の短期的な整備効果
第19回委員会(令和元年7月)	◆1巡目対策区間の整備効果、2巡目対策区間の短期的な整備効果

『群馬県事故ゼロプラン3巡目』

第20回委員会(令和2年9月)	◆1巡目・2巡目対策区間の整備効果、3巡目のすすめ方
第21回委員会(令和3年3月)	※「移動性向上」だけの議題で開催
第22回委員会(令和3年8月)	◆本日の委員会(1巡目・2巡目対策区間の整備効果、3巡目事故危険区間案の抽出)



1. 事故ゼロプランの経緯

②近年の委員会審議経過

第15回委員会（平成28年8月）

事故危険区間 抽出“**方法**”確認 事故データ指標、地域の声（職業ドライバーアンケート）による抽出

第16回委員会（平成29年1月）

事故危険区間 抽出“**結果**”確認 事故データ指標、地域の声（職業ドライバーアンケート）による抽出

事故危険区間公表（平成29年3月） **194区間**

第17回委員会（平成29年7月）

事故危険区間 整備“**効果**”確認 2巡目の公表結果、1巡目対策区間の整備効果

第18回委員会（平成30年7月）、第19回委員会（令和元年7月）

事故危険区間 整備“**効果**”確認 1巡目区間および2巡目区間の整備効果

第20回委員会（令和2年9月）

事故危険区間 整備“**効果**”確認 1巡目区間および2巡目区間の整備効果

事故危険区間 抽出“**方法**”確認 事故データ指標、地域の声（職業ドライバーアンケート）による抽出

第22回委員会の確認・審議事項

- ◆事故ゼロプラン（1巡目）の整備後4年以上経過の対策効果の確認【確認事項】
- ◆事故ゼロプラン（2巡目）の対策効果の確認【確認事項】
- ◆事故ゼロプラン（3巡目）の事故危険区間の抽出【審議事項】

1. 事故ゼロプランの経緯

③これまでの取り組み

群馬県事故ゼロプラン

群馬県事故ゼロプランは、交通人身事故を減少させるため、過去の事故データや道路利用者の声を基に、交通安全対策が必要な区間を『事故危険区間』として選定し、緊急的に対策を行っていく取り組み

事故ゼロプラン（1巡目）

平成22年に主な事故危険区間83区間を公表

平成27年度までに80区間の対策を完了（3区間事業中）

事故ゼロプラン（2巡目）

平成29年に事故危険区間194区間を公表

令和2年度までに176区間の対策を完了（16区間事業中、2区間経過観察中）

事故ゼロプラン（3巡目）

令和3年に事故危険区間191区間を公表予定（直轄国道:84区間、県管理道路:107区間）

令和7年度にかけて191区間の対策実施予定

1. 事故ゼロプランの経緯

④事故ゼロプラン2巡目区間の進捗状況

直轄国道の対象**93区間**のうち、対策完了**75区間**
群馬県の対象**101区間**のうち、対策完了**101区間**

対策区間	区間数	計画(Plan)			実施(Do)		
		検討中	経過観察	設計済み	対策完了		
					H27～R2	R03見込	小計
直轄国道	93	0	2 ※	91	75	16	91
群馬県管理	101	0	0	101	101	—	101
合計	194	0	2	192	176	16	192

※経過観察:

(主)大間々世良田線BP(開通H30.3)が国道50号に新たに接続し、周辺の交通環境が大きく変化

1. 事故ゼロプランの経緯

⑤ 事故ゼロプラン2巡目区間一覧表

青：対策完了
 橙：対策準備中
 白：経過観察

No.	路線名	区間名(直轄国道)
2	国道17号	みなかみ町吹路
3	国道17号	沼田市恩田町
4	国道17号	沼田市恩田町
14	国道17号	石原交差点
15	国道17号	中村三叉路交差点
16	国道17号	渋川市中村
18	国道17号	半田北交差点
21	国道17号	田口町南交差点
22	国道17号	荒牧町交差点
25	国道17号	前橋市下小出町三丁目
27	国道17号	群大病院東交差点
28	国道17号	前橋市国領町二丁目
29	国道17号	住吉町一丁目交差点
30	国道17号	千代田町三丁目交差点
31	国道17号	千代田町一丁目交差点
32	国道17号	本町一丁目交差点
34	国道50号	本町二丁目交差点
35	国道50号	前橋市本町二丁目
36	国道50号	二丁目五差路交差点
37	国道50号	前橋市本町三丁目
38	国道50号	前橋市税務署北交差点
39	国道50号	本町三丁目交差点
40	国道50号	三河町二丁目交差点
41	国道50号	前橋市朝日町四丁目
42	国道50号	東片貝町東交差点
43	国道50号	前橋市野中町
44	国道50号	上長磯町交差点
46	国道50号	小島田町交差点
49	国道17号	今井町交差点
50	国道50号	前橋市二之宮町
51	国道50号	赤堀今井西交差点
52	国道50号	赤堀今井町交差点
53	国道50号	伊勢崎市赤堀今井町一丁目
54	国道50号	伊勢崎市市場町一丁目
55	国道50号	西久保町交差点
56	国道50号	伊勢崎市西久保町二丁目
58	国道50号	間野谷町西交差点
59	国道50号	伊勢崎市間野谷町
60	国道50号	みどり市笠懸町
61	国道50号	みどり市笠懸町
62	国道50号	鹿交差点
66	国道50号	みどり市笠懸町
67	国道50号	阿左美岩宿交差点
68	国道50号	阿佐美交差点
69	国道50号	桜塚交差点
71	国道50号	広沢小学校交差点
72	国道50号	広沢町五丁目交差点
74	国道50号	太田市丸山町
75	国道50号	太田流通センター入口交差点
76	国道50号	七日市交差点
106	国道17号	二宮赤城神社前交差点

No.	路線名	区間名(直轄国道)
107	国道17号	飯土井交差点
108	国道17号	スマートインター入口交差点
109	国道17号	三和交差点
110	国道17号	伊勢崎市三和町
111	国道17号	東小保方南交差点
112	国道17号	流通団地前交差点
113	国道17号	新田西部工業団地入口交差点
117	国道17号	阿久津交差点
128	国道17号	本町一丁目南交差点
129	国道17号	紅雲町二丁目交差点
130	国道17号	農政事務所前交差点
131	国道17号	前橋市石倉町二丁目
132	国道17号	総合文化センター入口交差点
135	国道17号	小八木町交差点
136	国道17号	高崎市浜尻町
137	国道17号	高崎市緑町四丁目
138	国道17号	高崎市緑町四丁目
148	国道17号	飯上並榎町ON,OFF分合流部交差点
149	国道17号	高崎市並榎町
150	国道17号	和田橋交差点
151	国道17号	城南交差点
154	国道17号	高崎市新後閑町
155	国道17号	上佐野西交差点
157	国道17号	倉賀野町交差点
158	国道17号	高崎市倉賀野町
159	国道17号	金属工業団地前交差点
160	国道17号	高崎市倉賀野町
161	国道17号	高崎市倉賀野町
162	国道17号	藤岡市岡之郷
163	国道17号	高崎市新町
171	国道18号	安中市松井田町
172	国道18号	安中市松井田
173	国道18号	磯部入口交差点
177	国道18号	安中市安中三丁目
178	国道18号	安中市安中四丁目
179	国道18号	安中市原市
181	国道18号	安中市役所入口交差点
183	国道18号	安中市安中四丁目
184	国道18号	中宿東交差点
186	国道18号	安中市板鼻
187	国道18号	安中市板鼻
188	国道18号	八幡大門交差点

No.	路線名	区間名(群馬県管理道路)
1	国道120号	利根郡片品村
5	国道291号	沼田市硯田町
6	(主)平川横塚線	沼田市塚塚町
7	(一)戸鹿野下之町線	沼田市栄町
8	国道353号	吾妻郡中之条町
9	(主)高崎東吾妻線	吾妻郡東吾妻町
10	(主)澁川東吾妻線	吾妻郡東吾妻町
11	(主)澁川松井田線	澁川市伊香保町
12	(主)澁川松井田線	伊香保交差点
13	国道291号	澁川市金井
17	(主)高崎澁川線	澁川市行幸田
19	(主)高崎安中澁川線	八木原駅入り口
20	(主)高崎安中澁川線	北群馬郡榛東村
23	(主)前橋赤城線	前橋市富士見町
24	(一)四ツ塚原之郷前橋線	前橋市勝沢町
26	(一)津久田停車場前橋線	前橋市北代田町
33	(主)前橋大間々桐生線	前橋市城東町二丁目
45	(主)前橋館林線	前橋市下大島町
47	(主)藤岡大胡線	前橋市筑井町
48	(主)藤岡大胡線	前橋市富田町
57	(主)前橋大間々桐生線	前橋市粕川町
63	(主)高崎伊勢崎線	みどり市大間々町
64	(一)駒形大間々線	みどり市大間々町
65	(一)小平塩原線	みどり市大間々町
70	国道122号	桐生市相生町一丁目
73	(一)太田桐生線	桐生市広沢町六丁目
77	(一)佐野太田線	太田市台之郷町
78	国道354号	上小泉交差点
79	国道354号	邑楽郡邑楽町
80	国道354号	館林市苗木町
81	国道354号	館林市富士原町
82	国道354号	館林市小桑原町
83	国道354号	新宿二丁目交差点
84	国道122号	館林市北成島町
85	(一)板倉粕谷館林線	館林市松原二丁目
86	国道354号	館林市赤生田町
87	国道354号	館林市羽附町
88	(一)江口館林線	南大島交差点
89	(主)熊谷館林線	下三林町交差点
90	国道407号	古戸交差点～刀水橋北詰交差点
91	(一)綿貫篠塚線	邑楽郡大泉町
92	(一)綿貫篠塚線	牛沢団地入口交差点
93	(一)綿貫篠塚線	太田市牛沢町
94	(一)鳥山竜舞線	太田市内ヶ島町
95	(一)太田大泉線	太田市新島町
96	(一)鳥山竜舞線	太田市新野町
97	国道407号	太田市熊野町
98	(主)足利伊勢崎線	太田市強戸町
99	(主)足利伊勢崎線	新小金井町北交差点
100	(主)足利伊勢崎線	太田市上強戸町
101	(主)桐生伊勢崎線	みどり市笠懸町

No.	路線名	区間名(群馬県管理道路)
102	(一)大原境三ツ木線	太田郡塚IC入口交差点
103	(主)桐生伊勢崎線	伊勢崎市田部井町二丁目
104	(一)三夜沢固定停車場線	国定町二丁目南交差点
105	(主)伊勢崎大間々線	三和町交差点
114	(一)大原境三ツ木線	太田市新田下田中町
115	(一)新田上江田尾島線	太田市新田赤堀町
116	(一)綿貫篠塚線	太田市安養寺町
118	(主)伊勢崎深谷線	境萩原交差点
119	国道462号	伊勢崎市ひろせ町
120	国道462号	伊勢崎市東本町
121	(主)桐生伊勢崎線	伊勢崎市平和町
122	(主)桐生伊勢崎線	伊勢崎市八寸町
123	(主)伊勢崎大間々線	伊勢崎市柳原町
124	(主)前橋館林線	伊勢崎市宮子町
125	(主)前橋玉村線	前橋市下阿内町
126	(主)前橋長瀬線	横手大橋北交差点
127	(主)前橋長瀬線	公田町東交差点
133	(主)高崎澁川線	高崎市引間町
134	(主)高崎澁川線	高崎市金古町
139	(主)高崎澁川線	高崎市緑町一丁目
140	(主)高崎澁川線	飯塚町南交差点
141	(主)高崎伊勢崎線	高崎市飯塚町(路切と五差路)
142	(主)前橋高崎線	高崎市井野町
143	(主)前橋高崎線	高崎市飯玉町
144	(主)高崎駒形線	高崎市上大類町
145	(主)高崎駒形線	高崎市芝塚町
146	(主)高崎駒形線	高崎市末広町(末広町五差路)
147	国道406号	高崎市北久保町
152	(主)前橋高崎線	栄町交差点
153	(主)高崎伊勢崎線	高崎市上中居町
156	(一)金井倉賀野停車場線	高崎市倉賀野町
164	(主)前橋長瀬線	上栗須交差点
165	(主)寺尾藤岡線	上落合交差点
166	(国)254号	高崎市吉井町
167	(国)254号	小沢交差点
168	(国)254号	一ノ宮駅前交差点
169	(国)254号	下仁田町下仁田
170	(主)下仁田軽井沢線	甘楽郡下仁田町
174	(一)磯部停車場線	安中市磯部一丁目
175	(一)長久保郷原線	安中市原市
176	(一)一本木平小井戸安中線	安中市原市二丁目
180	(主)下仁田安中倉淵線	安中市高別当
182	(一)一本木平小井戸安中線	安中市安中四丁目
185	(一)吉井安中線	鷹之巣橋東交差点
189	(主)前橋安中富岡線	高崎市八幡町
190	(主)あら町下室田線	高崎市下室田町
191	(国)145号	長野原町横壁
192	(国)146号	応桑交差点
193	(国)144号	大前交差点
194	(国)144号	吾妻郡嫗恋村

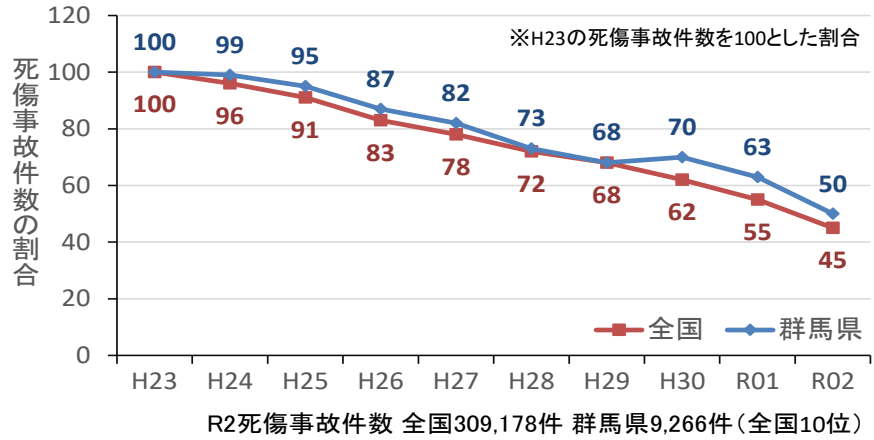
※No.60、No.61：経過観察 ((主)大間々世良田線BP(開通H30.3)が国道50号に新たに接続し、周辺の交通環境が大きく変化)

2. 群馬県の事故状況

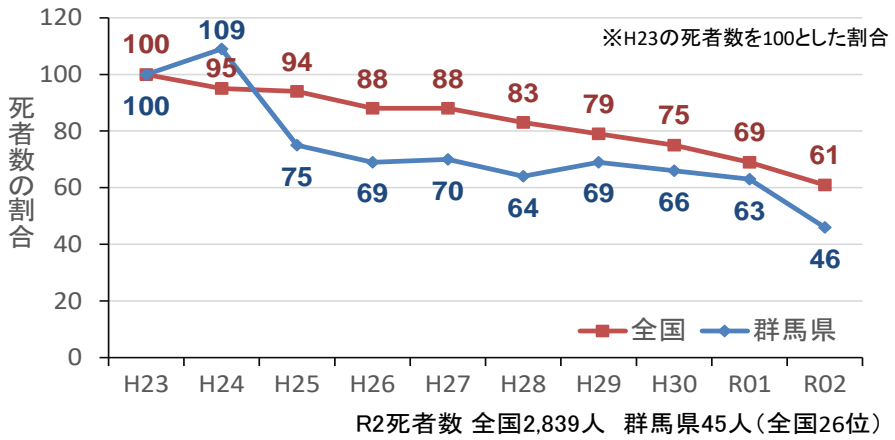
① 全国との比較

○群馬県内で発生している死傷事故件数は、全国と同様に減少傾向にあり、死者数も同様の傾向。
 ○人口10万人あたりの死傷事故件数は、全国ワースト第3位であり、人口あたりの死傷事故が多い。
 ○人口10万人あたりの死者数は全国平均と同程度。 ⇒ 引き続き事故対策が必要。

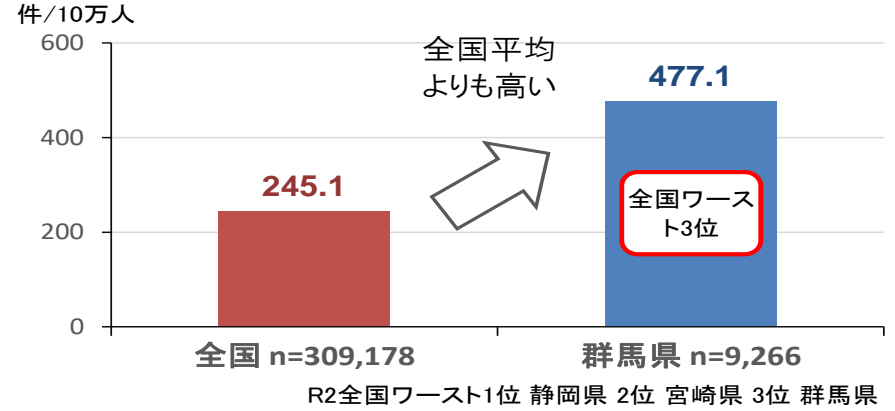
死傷事故件数の変化



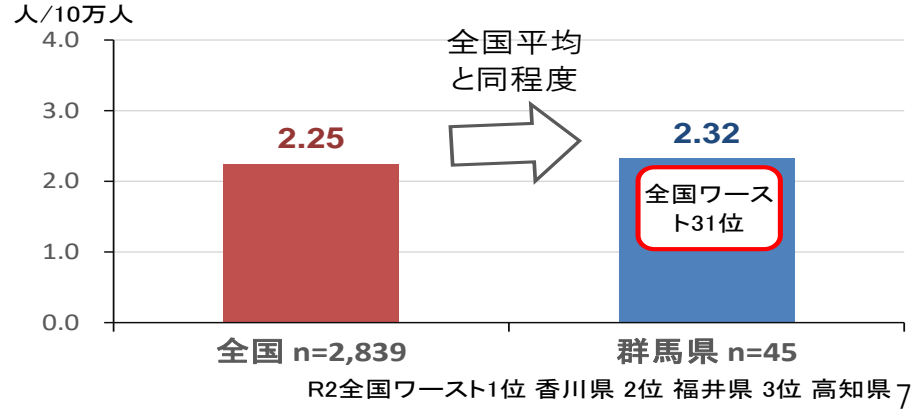
死者数の変化



人口10万人当たりの死傷事故件数(R2)



人口10万人当たりの死者数(R2)



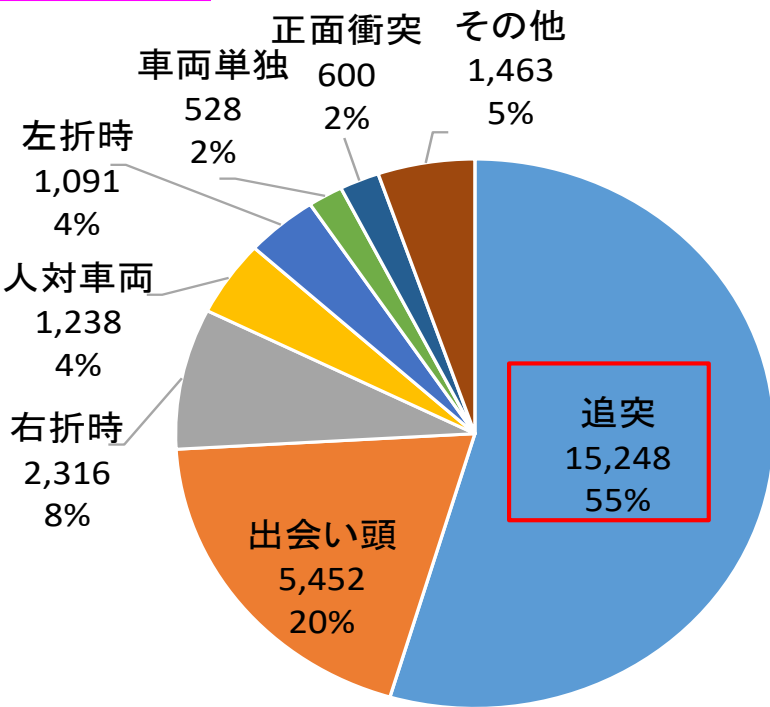
資料: 交通事故統計年報

2. 群馬県の事故状況

②事故類型の特徴

○幹線道路の事故類型別の死傷事故件数は、「追突事故」「出会い頭事故」「右折時事故」が多い。
 ○生活道路の事故類型別の死傷事故件数は、「出会い頭事故」が多い。

幹線道路

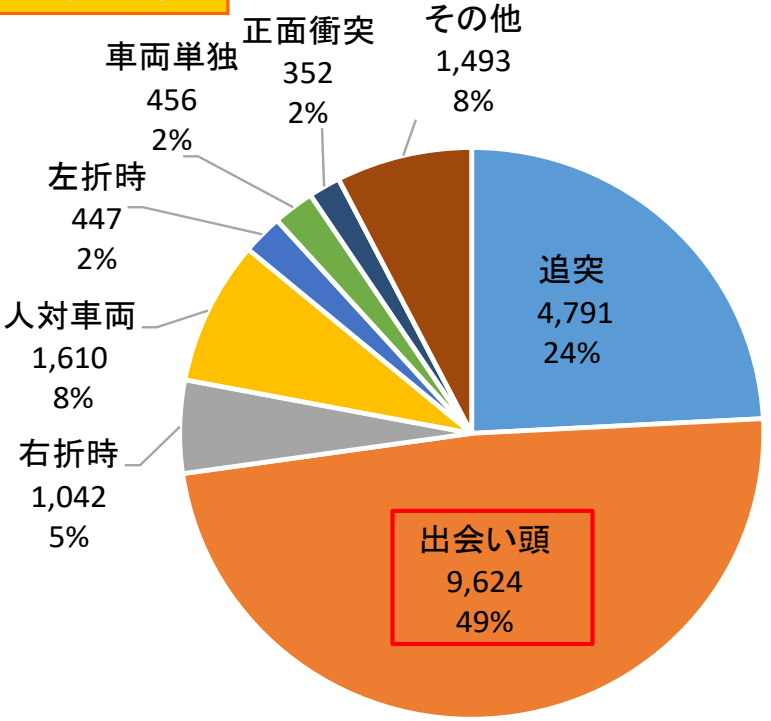


事故類型別事故件数と構成比

H28～R1(群馬県:幹線道路)

n=27,936

生活道路



事故類型別事故件数と構成比

H28～R1(群馬県:生活道路)

n=19,815

図中表記:事故類型, 事故件数, 構成比

資料:交通事故・道路統合データベース(イタルダ) ※ 幹線道路(国道・県道など)の事故類型を集計(対列車事故、不明は除く)

資料:交通事故・生活道路統合データ(イタルダ) ※生活道路:一般市町村道、その他の道路、生活道路の事故類型を集計

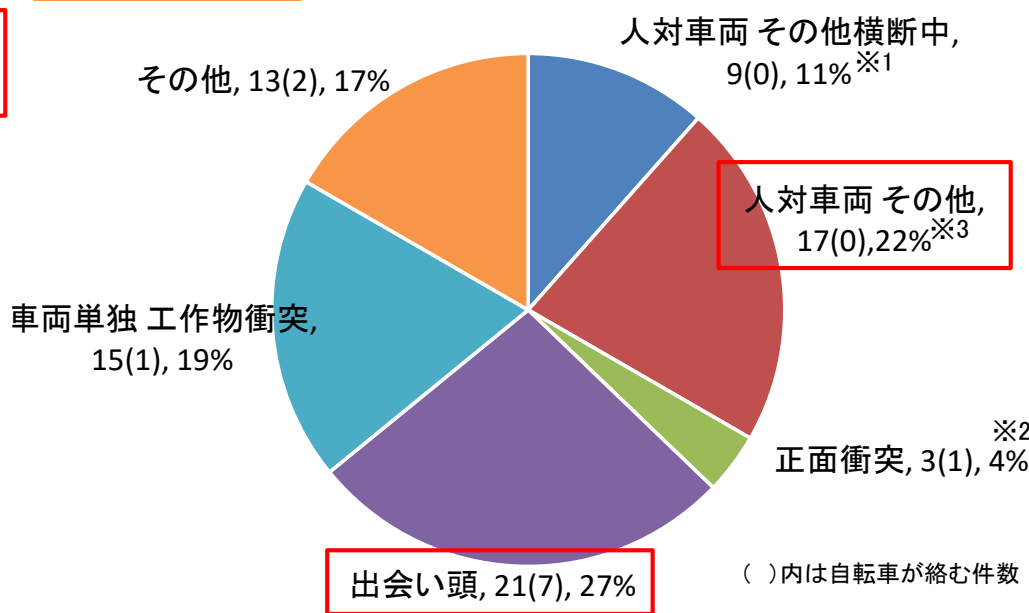
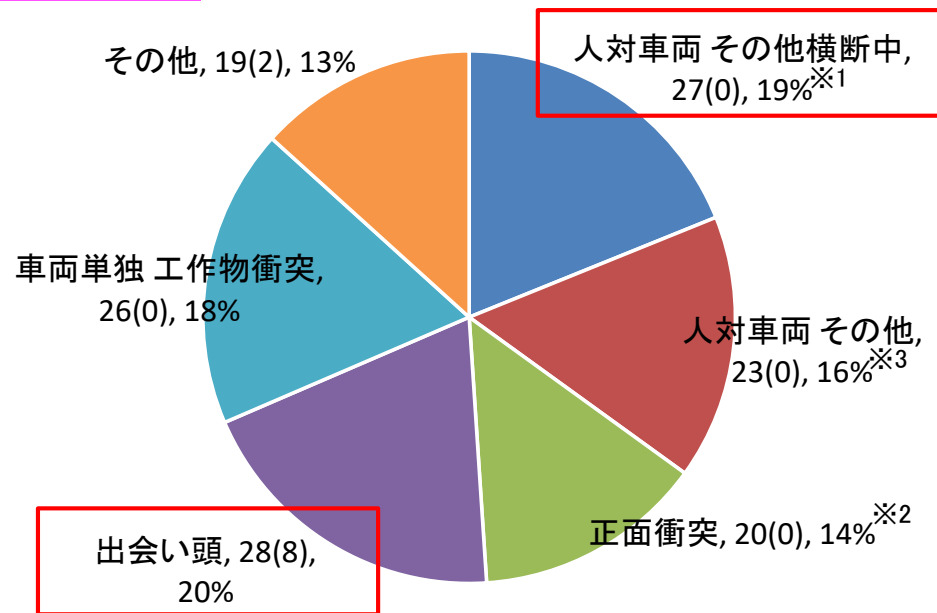
2. 群馬県の事故状況

③死亡事故の特徴

○幹線道路の死亡事故は、「**出会い頭事故**」や人対車両の「**その他横断中**」が多い。
 ○生活道路の死亡事故は、「**出会い頭事故**」や人対車両の「**その他**」が多い。

幹線道路

生活道路



死亡事故の事故類型別事故件数と構成比

死亡事故の事故類型別事故件数と構成比

H28～R1(群馬県:幹線道路)
n=143

H28～R1(群馬県:生活道路)
n=78

図中表記: 事故類型, 事故件数, 構成比

資料: 交通事故・道路統合データベース(イタルダ) ※ 幹線道路(国道・県道など)の事故件数について集計
 交通事故・生活道路統合データ(イタルダ) ※生活道路: 一般市町村道、その他の道路

※1: 横断歩道、横断歩道付近、横断歩道橋付近以外の道路の部分歩行者が横断していた時に事故が発生した類型

※2: 前車追越し又は追い抜き中に衝突したもの以外の類型

※3: 駐車場など一般交通の用に供する道路で発生した事故、車両が道路外から道路へ進行する際に発生した事故等、人対車両のその他のいずれの類型にも該当しない類型

3. 事故ゼロプラン整備効果

① 1巡目、2巡目の対策区間の整備状況

- 1巡目の対策区間で**対策後4年以上経過している区間**は、**イタルダ事故データ**にて整備効果を確認
- 2巡目の対策区間は、対策後の取得可能な**イタルダ事故データ**にて整備効果を確認

1巡目対策区間の整備状況

平成22年～ 事故ゼロプラン(1巡目)

- ・平成22年 主な事故危険区間83区間(国54、県29)を公表
- ・令和2年までに、80区間(国52、県28)の対策を完了
- ・3区間事業中(直轄国道/国道17号羽場地区・上白井地区、群馬県管理/主要地方道前橋赤城線(小暮交差点)交差点改良)

対策後4年以上経過した区間

死傷事故件数の変化を確認

- ・平成27年までに対策を完了した66区間(国38、県28)

2巡目対策区間の整備状況

平成28年～ 事故ゼロプラン(2巡目)

- ・平成29年 事故危険区間194区間(国93、県101)を公表
- ・令和2年までに、176区間(国75、県101)の対策を完了
- ・16区間事業中(直轄国道)
- ・2区間経過観察中(直轄国道)

対策後1～4年経過した区間

死傷事故件数の変化を確認

- ・平成30年までに対策を完了した94区間(国32、県62)


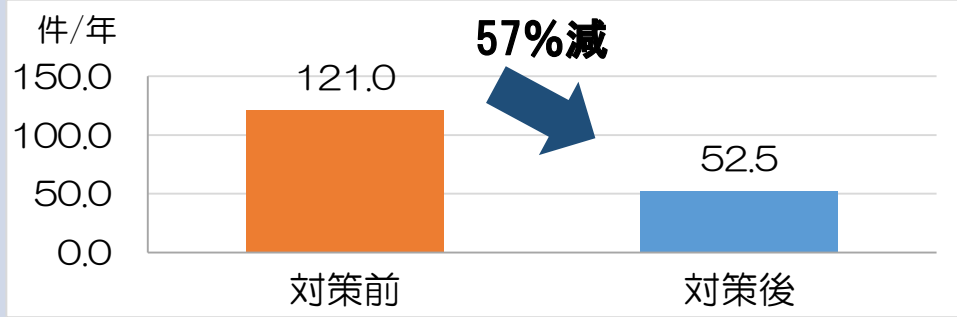

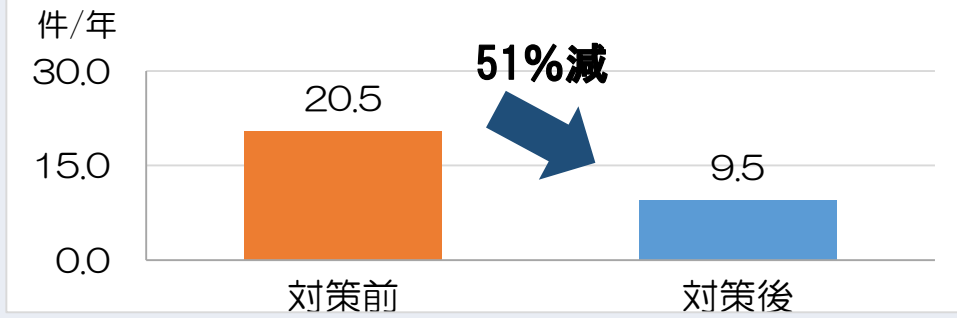

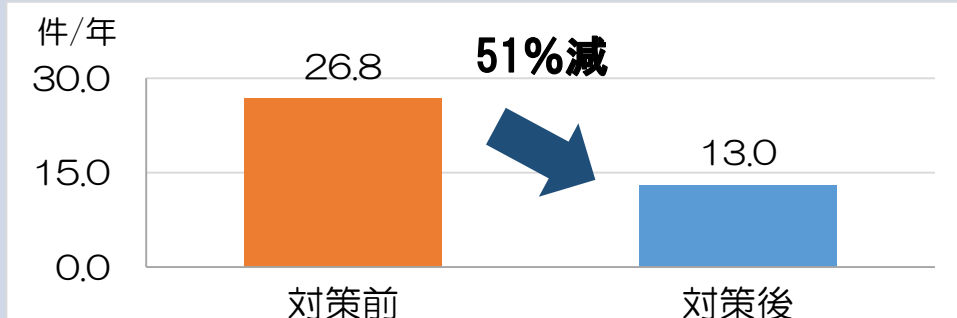
3. 事故ゼロプラン整備効果

②1巡目対策区間の整備効果

直轄国道

イタルダ事故データ

○1巡目対策実施区間では、群馬県の特徴的な事故が概ね半数に減少。

事故類型	対策内容	事故件数の推移(対策後4年以上経過した区間)
追突	<ul style="list-style-type: none"> 法定外看板「追突注意」(LED含む) 減速路面標示、路面標示「追突注意」 	 <p>件/年</p> <p>121.0 (対策前) → 52.5 (対策後)</p> <p>57%減</p>
出会い頭	<ul style="list-style-type: none"> 法定外看板「出入り車両注意」 	 <p>件/年</p> <p>20.5 (対策前) → 9.5 (対策後)</p> <p>51%減</p>
右折時	<ul style="list-style-type: none"> 法定外看板「対向車注意」 右折指導線の設置 導流帯の設置 	 <p>件/年</p> <p>26.8 (対策前) → 13.0 (対策後)</p> <p>51%減</p>

資料: 交通事故・道路統合データベース(イタルダ) ※ 幹線道路(直轄国道)の事故件数について集計
 ※ 対策前: 平成17年~20年の平均値、北関東自動車道(伊勢崎IC~太田桐生IC)の供用(H20)により交通環境の変化が想定される区間(伊勢崎市五目牛町、太田市東部工業団地交差点、太田市只上交差点)は、平成21年~24年の平均値
 対策後: 平成28年~平成31年(令和元年)の平均値


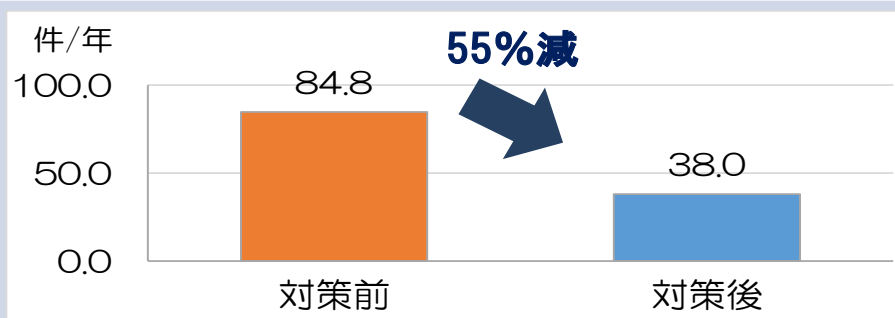

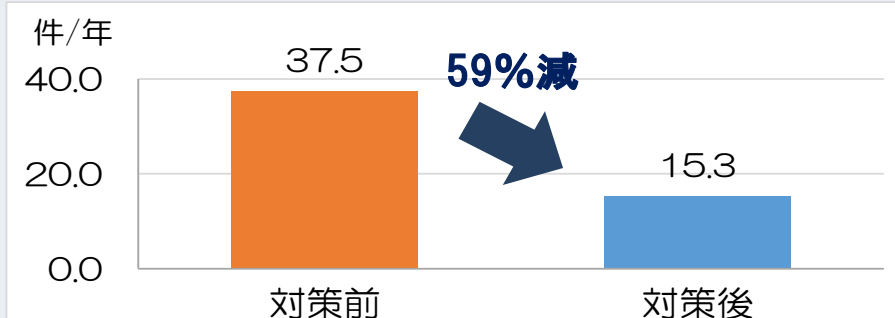

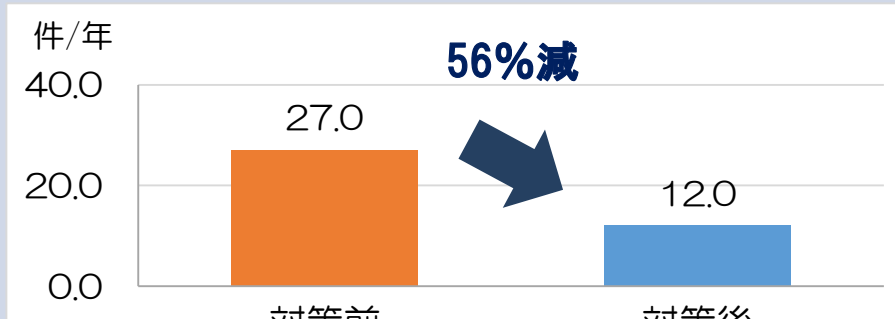
3. 事故ゼロプラン整備効果

③ 1巡目対策区間の整備効果

群馬県管理道路

イタルダ事故データ

○群馬県管理道路においても、群馬県の特徴的な事故が減少。

事故類型	対策内容	事故件数の推移(対策後4年以上経過した区間)
追突	<ul style="list-style-type: none"> ・法定外看板「追突注意」 ・減速路面標示、路面標示「追突注意」 ・カラー舗装 	 <p>件/年</p> <p>100.0</p> <p>50.0</p> <p>0.0</p> <p>84.8</p> <p>38.0</p> <p>55%減</p> <p>対策前</p> <p>対策後</p>
出会い頭	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点内誘導線の引き直し ・中央分離帯端部に点滅灯設置 	 <p>件/年</p> <p>40.0</p> <p>20.0</p> <p>0.0</p> <p>37.5</p> <p>15.3</p> <p>59%減</p> <p>対策前</p> <p>対策後</p>
右折時	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点内誘導線の引き直し 	 <p>件/年</p> <p>40.0</p> <p>20.0</p> <p>0.0</p> <p>27.0</p> <p>12.0</p> <p>56%減</p> <p>対策前</p> <p>対策後</p>

資料: 交通事故・道路統合データベース(イタルダ) ※ 幹線道路(群馬県管理道路)の事故件数について集計
 ※ 対策前: 平成17年~20年の平均値、北関東自動車道(伊勢崎IC~太田桐生IC)の供用(H20)により交通環境の変化が想定される区間((主)足利伊勢崎線 太田市丸山町)は、平成21年~24年の平均値
 対策後: 平成28年~平成31年(令和元年)の平均値

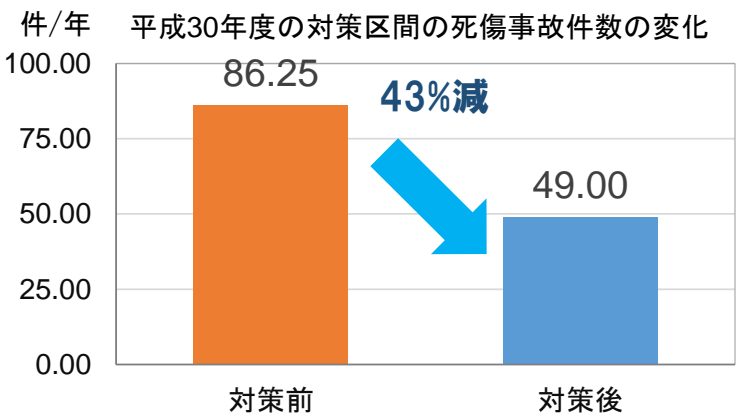
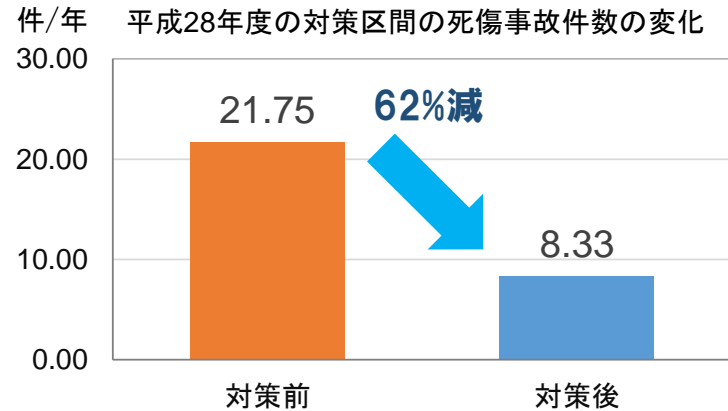
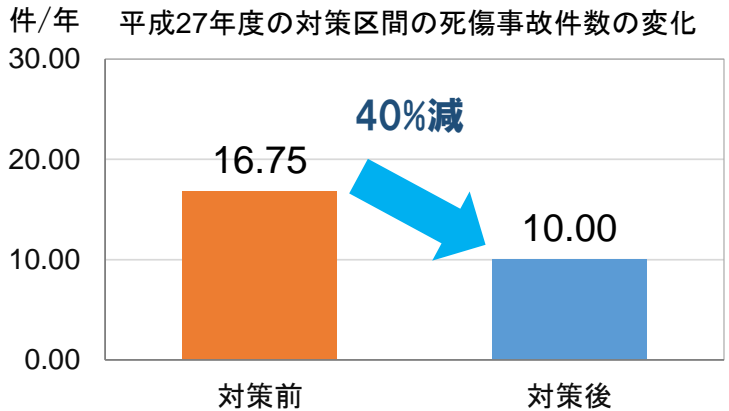
3. 事故ゼロプラン整備効果

④ 2巡目対策区間の整備効果

直轄国道

イタルダ事故データ

- 2巡目対策実施区間において、事故件数は減少。
- 平成27～30年度の対策実施区間全体で事故削減効果がみられる。
- ◎ 今後は、PDCAサイクルにのっとり、対策実施～効果確認を実施。



資料: 交通事故・道路統合データベース(イタルダ)
※ 対策前: 平成23年～26年(2巡目対策区間抽出データ)の平均値
対策後: 平成27年度対策実施区間(4区間)は平成28年～平成31年(令和元年)の平均値、
平成28年度対策実施区間(3区間)は平成29年～平成31年(令和元年)の平均値、
平成30年度対策実施区間(25区間)は平成31年(令和元年)の値。

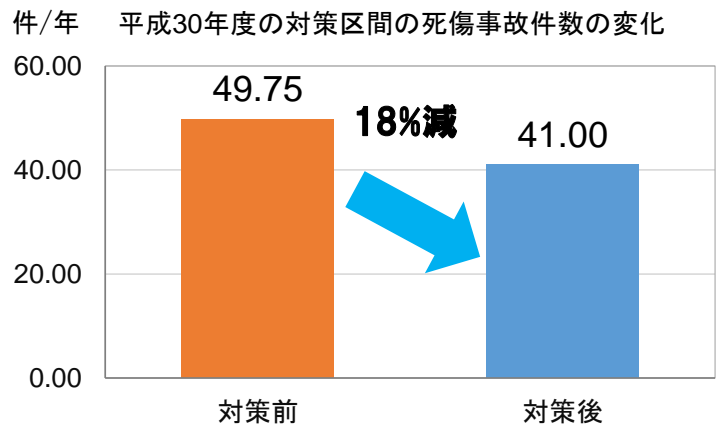
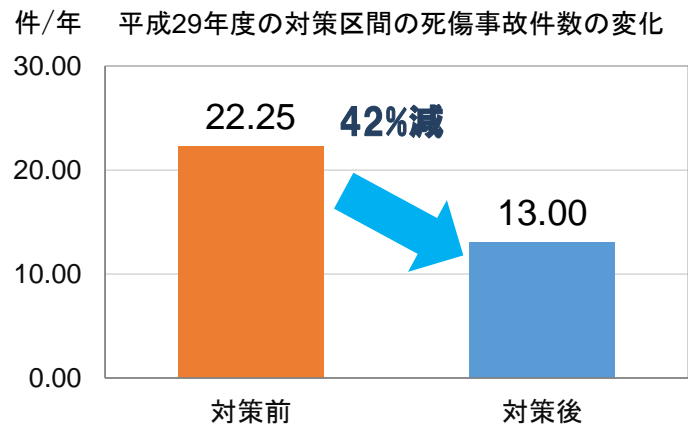
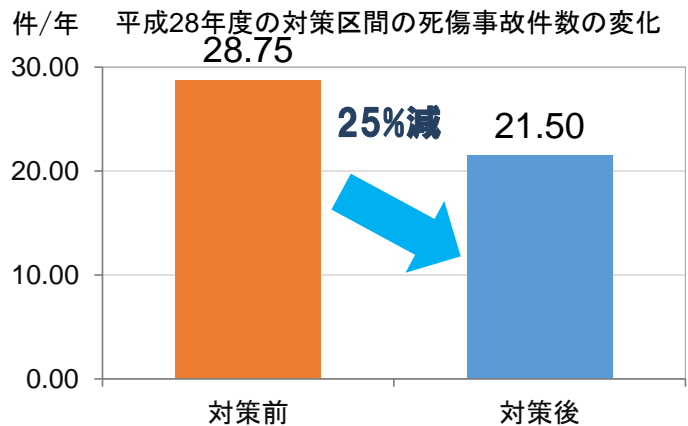
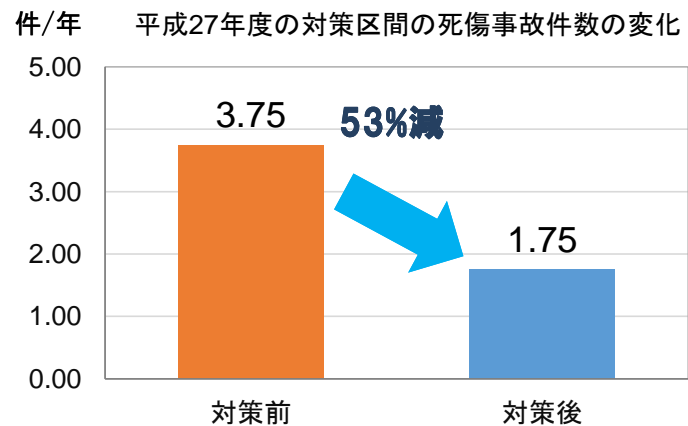
3. 事故ゼロプラン整備効果

⑤ 2巡目対策区間の整備効果

群馬県管理道路

イタルダ事故データ

○群馬県管理道路においても、2巡目対策実施区間の事故件数は減少。
 ○平成27～30年度の対策実施区間全体で事故削減効果がみられる。
 ◎今後は、PDCAサイクルにのっとり、対策実施～効果確認を実施。



資料：交通事故・道路統合データベース(イタルダ)
 ※ 対策前：平成23年～26年(2巡目対策区間抽出データ)の平均値
 対策後：平成27年度対策実施区間(3区間)は平成28年～平成31年(令和元年)の平均値、
 平成28年度対策実施区間(17区間)は平成29年～平成31年(令和元年)の平均値、
 平成29年度対策実施区間(14区間)は平成30年～平成31年(令和元年)の平均値、
 平成30年度対策実施区間(28区間)は平成31年(令和元年)の値。

4. 事故ゼロプラン(3巡目)のすすめ方

【R2年度】 事故ゼロプラン(3巡目)事故危険区間の抽出方法

前回(令和2年9月)の委員会の確認・審議事項

■抽出方法の確認

- ・事故データに基づく抽出方法
- ・地域の声に基づく抽出方法

【R3年度】 事故ゼロプラン(3巡目)事故危険区間の抽出

本日の委員会の確認・審議事項

■事故危険区間抽出結果の確認

事故危険区間の公表(記者発表、web掲載)

【R3～R7年度】

事故危険区間の対策検討～対策実施～実施結果の整備効果確認

5. 事故危険区間の抽出(抽出指標)

○事故ゼロプラン(3巡目)の事故危険区間は、下記①②の指標による抽出と、③第5次社重の事故危険箇所を包括した区間とします。

前回(令和2年9月)の委員会の確認・審議事項

①事故データに基づく抽出

- ・事故ゼロプラン2巡目の指標をもとに、『子供事故件数の上位区間』と『横断歩道横断中事故件数の上位区間』を新たに指標に追加
- ・最新のH27～H30事故データを使用
- ・事故データ区間数:約17,700区間

【抽出指標】～2項目該当～

- 死傷事故率:100件/億台km以上
- 死傷事故件数:上位区間
- 死者数:1人以上/4年
- 追突事故件数:上位区間
- 車線逸脱事故件数:上位区間
- 歩行者・自転車事故件数:上位区間
- 高齢者事故件数:上位区間
- 子供事故件数:上位区間
- 横断歩道横断中事故件数:上位区間

②地域の声に基づく抽出

- ・群馬県内の職業ドライバーを対象
- ・複数意見のあった危険指摘区間を抽出
- ・道路管理者として、安全対策が必要とされる箇所

【アンケート概要】

- 対象:群馬県トラック協会・バス協会・タクシー協会
- 内容:群馬県内の幹線道路の危険箇所を回答
- 危険指摘区間数:160区間 ⇒複数回答区間を抽出

③第5次社会資本整備重点計画の事故危険箇所

- ・国施策『第5次社会資本整備重点計画』の『事故危険箇所』を事故ゼロプランに包括

【選定指標 ～A基準:3項目全該当～】

- 死傷事故率:100件/億台km以上
- 重大事故率:10件/億台km以上
- 死亡事故率:1件/億台km以上

【選定指標 ～B基準～】

- ETC2.0を活用した急挙動箇所
- 事故多発交差点

5. 事故危険区間の抽出(①事故データに基づく抽出)

○事故データに基づく抽出で、直轄国道:32区間、県管理道路:36区間を抽出しました。

群馬県の全国道・県道(イタルダ事故データの区間数:約17,700区間)のうち、下記指標に2項目該当する区間
直轄国道:64区間、県管理道路:44区間

- 【抽出指標】 ※H27~H30イタルダ事故データをもとに下記指標に2項目該当する区間
- 死傷事故率が100件/億台km以上
 - 死傷事故件数の上位区間
 - 死者数(1人/4年以上)
 - 追突事故件数の上位区間
 - 車線逸脱事故件数の上位区間
 - 歩行者・自転車事故件数の上位区間
 - 高齢者事故件数の上位区間
 - 子供事故件数の上位区間
 - 横断歩道横断中事故件数の上位区間

第5次社重の事故危険箇所と重複
直轄国道:8区間
県管理道路:5区間

事故危険箇所として、
事故危険区間に選定

過去に事故対策を「未実施」
直轄国道:26区間
県管理道路:33区間

事故データに基づく抽出
「直轄国道:32区間、県管理道路:36区間」

対策後「4年経過」
直轄国道:6区間
県管理道路:3区間

対策後「4年未満」で、
対策後に重大事故なし
直轄国道:24区間
県管理道路:3区間

経過観察扱い(事故危険区間に選定しない)

5. 事故危険区間の抽出(②地域の声に基づく抽出)

- 群馬県内の道路事情に精通している「トラック協会」、「バス協会」、「タクシー協会」を対象に、「危険と思われる幹線道路の区間」についてアンケート調査を実施しました。
- アンケート調査を実施したところ、9事業者※から189区間(うち県内幹線道路が160区間、県内生活道路が27区間、県外区間が2区間)の回答がありました。 ※トラック協会は協会内で保有している危険箇所データの提供
- 地域の声に基づく抽出で、直轄国道:26区間、県管理道路:5区間を抽出しました。

アンケート結果(危険指摘区間. **直轄国道:42区間、県管理道路:118区間**)

第5次社重の事故危険箇所と重複
直轄国道:2区間
県管理道路:4区間

事故危険箇所として、
事故危険区間に選定

複数回答のあった区間
直轄国道:なし
県管理道路:5区間

地域の声に基づく抽出
「県管理道路:5区間」

複数回答がなく、①事故データに基づく抽出基準も満たさない区間
直轄国道:36区間
県管理道路:109区間

対策の優先度は低い区間
(事故危険区間に選定しない)

道路管理者として、安全対策が必要とされる区間
直轄国道:26区間
県管理道路:他の施策で実施※注

地域の声に基づく抽出
「直轄国道:26区間」

※注) 県等で実施する施策
・千葉県八街市で発生した事故を踏まえた通学路の緊急合同点検に基づく交通安全対策の実施
・県土整備プランに位置づけた「中高生が安心して通学できる環境の整備」による自転車通行環境整備の推進

5. 事故危険区間の抽出(③第5次社重の事故危険箇所)

- 国施策「第5次社会資本整備重点計画」の「事故危険箇所」を事故ゼロプランに包括します。
- 第5次社重の事故危険箇所として、直轄国道:26箇所、県管理道路:66箇所を抽出しました。

第5次社会資本整備重点計画の事故危険箇所

【選定指標 ~A基準:3項目全てに該当~】

- 死傷事故率:100件/億台km以上
- 重大事故率:10件/億台km以上
- 死亡事故率:1件/億台km以上

【選定指標 ~B基準~】

- ETC2.0を活用した急挙動箇所
- 事故多発交差点

- ・A基準の事故危険箇所(直轄国道:18箇所、県管理道路:64箇所)
- ・B基準の事故危険箇所(直轄国道:8箇所、県管理道路:2箇所)

5. 事故危険区間の抽出(まとめ)

①事故データに基づく抽出

事故データによる事故危険区間(直轄国道:32区間、県管理道路:36区間)

②地域の声に基づく抽出

アンケート指摘等による事故危険区間(直轄国道:26区間、県管理道路:5区間)

③第5次社会資本整備重点計画の事故危険箇所

- ・A基準の事故危険箇所(直轄国道:18箇所、県管理道路:64箇所)
- ・B基準の事故危険箇所(直轄国道:8箇所、県管理道路:2箇所)

事故ゼロプラン3巡目の事故危険区間(直轄国道:84区間、県管理道路:107区間)

5. 事故危険区間の抽出(まとめ)

事故ゼロプラン3巡目区間一覧表(直轄国道:84区間)

番号	路線名	市町村名	選定区分		
			①事故データ	②地域の声	③第5次社重
1	国道17号	高崎市	●		
2	国道17号	高崎市	●		
3	国道17号	前橋市	●		
4	国道17号	前橋市	●		
5	国道17号	前橋市	●		
6	国道17号	前橋市	●		
7	国道17号	高崎市	●		
8	国道17号	高崎市	●		
9	国道17号	高崎市	●		
10	国道17号	高崎市	●		
11	国道17号	高崎市	●		
12	国道17号	高崎市	●		
13	国道17号	前橋市	●		
14	国道17号	高崎市	●		
15	国道17号	高崎市	●		
16	国道17号	沼田市	●		
17	国道17号	高崎市	●		
18	国道17号	渋川市	●		
19	国道17号	渋川市	●		
20	国道17号	高崎市	●		
21	国道17号	高崎市	●		
22	国道18号	安中市	●		
23	国道18号	安中市	●		
24	国道18号	安中市	●		
25	国道18号	高崎市	●		
26	国道18号	安中市	●		
27	国道18号	高崎市	●		
28	国道50号	前橋市	●		
29	国道50号	前橋市	●		
30	国道50号	桐生市	●		
31	国道50号	伊勢崎市	●		
32	国道50号	伊勢崎市	●		
33	国道17号	前橋市		●	
34	国道17号	高崎市		●	
35	国道17号	渋川市		●	
36	国道17号	前橋市		●	
37	国道17号	前橋市		●	
38	国道17号	前橋市		●	
39	国道17号	前橋市		●	
40	国道17号	高崎市		●	
41	国道17号	前橋市		●	
42	国道17号	前橋市		●	

番号	路線名	市町村名	選定区分		
			①事故データ	②地域の声	③第5次社重
43	国道17号	藤岡市		●	
44	国道17号	高崎市		●	
45	国道17号	前橋市		●	
46	国道17号	前橋市		●	
47	国道17号	みなかみ町		●	
48	国道18号	安中市		●	
49	国道18号	高崎市		●	
50	国道18号	安中市		●	
51	国道18号	安中市		●	
52	国道18号	安中市		●	
53	国道18号	安中市		●	
54	国道18号	安中市		●	
55	国道18号	安中市		●	
56	国道18号	安中市		●	
57	国道50号	伊勢崎市		●	
58	国道50号	みどり市		●	
59	国道17号	沼田市			●
60	国道17号	沼田市			●
61	国道17号	前橋市			●
62	国道17号	前橋市			●
63	国道17号	渋川市			●
64	国道17号	高崎市			●
65	国道17号	高崎市			●
66	国道17号	高崎市			●
67	国道17号	高崎市			●
68	国道17号	高崎市			●
69	国道17号	高崎市			●
70	国道17号	高崎市			●
71	国道17号	渋川市			●
72	国道17号	前橋市			●
73	国道17号	高崎市			●
74	国道17号	前橋市			●
75	国道17号	高崎市			●
76	国道17号	高崎市			●
77	国道17号	高崎市			●
78	国道17号	みなかみ町			●
79	国道18号	安中市			●
80	国道18号	安中市			●
81	国道18号	安中市			●
82	国道18号	安中市			●
83	国道50号	伊勢崎市			●
84	国道50号	伊勢崎市			●

5. 事故危険区間の抽出(まとめ)

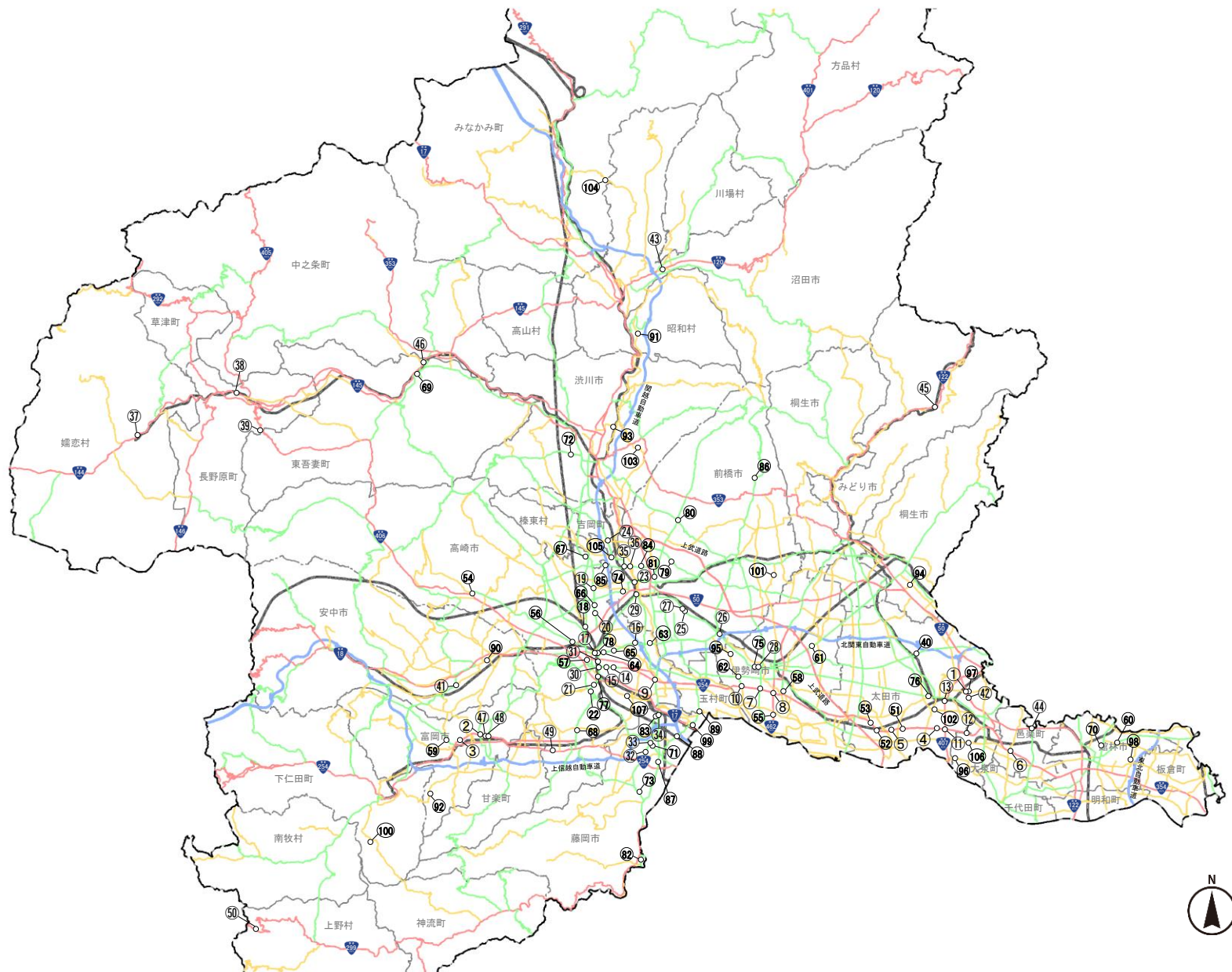
事故ゼロプラン3巡目区間一覧表(県管理道路:107区間)

番号	路線名	市町村名	選定区分		
			①事故データ	②地域の声	③第5次社重
1	国道122号	太田市	●		
2	国道254号	富岡市	●		
3	国道254号	富岡市	●		
4	国道354号	太田市	●		
5	国道354号	太田市	●		
6	国道354号	邑楽町	●		
7	国道354号	伊勢崎市	●		
8	国道354号	伊勢崎市	●		
9	国道354号	高崎市	●		
10	国道354号	伊勢崎市	●		
11	国道354号	太田市	●		
12	国道354号	大泉町	●		
13	国道407号	太田市	●		
14	(主)高崎伊勢崎線	高崎市	●		
15	(主)高崎伊勢崎線	高崎市	●		
16	(主)高崎駒形線	高崎市	●		
17	(主)高崎駒形線	高崎市	●		
18	(主)高崎渋川線	高崎市	●		
19	(主)高崎渋川線	高崎市	●		
20	(主)高崎渋川線	高崎市	●		
21	(主)高崎神流秩父線	高崎市	●		
22	(主)高崎神流秩父線	高崎市	●		
23	(主)前橋安中富岡線	前橋市	●		
24	(主)前橋伊香保線	吉岡町	●		
25	(主)前橋館林線	前橋市	●		
26	(主)前橋館林線	前橋市	●		
27	(主)前橋館林線	前橋市	●		
28	(主)前橋館林線	伊勢崎市	●		
29	(主)前橋高崎線	前橋市	●		
30	(主)前橋高崎線	高崎市	●		
31	(主)前橋高崎線	高崎市	●		
32	(主)前橋長瀬線	藤岡市	●		
33	(主)前橋長瀬線	藤岡市	●		
34	(主)前橋長瀬線	藤岡市	●		
35	(主)前橋箕郷線	前橋市	●		
36	(主)前橋箕郷線	前橋市	●		
37	国道144号	嬬恋村		●	
38	国道145号	長野原町		●	
39	国道406号	長野原町		●	
40	(主)足利伊勢崎線	太田市		●	
41	(主)下仁田安中倉淵線	安中市		●	
42	国道122号	太田市			●
43	国道120号	沼田市			●
44	国道122号	邑楽町			●
45	国道122号	みどり市			●
46	国道145号	東吾妻町			●
47	国道254号	富岡市			●
48	国道254号	富岡市			●
49	国道254号	高崎市			●
50	国道299号	上野村			●
51	国道354号	太田市			●
52	国道354号	太田市			●
53	国道354号	太田市			●
54	国道406号	高崎市			●

番号	路線名	市町村名	選定区分		
			①事故データ	②地域の声	③第5次社重
55	国道462号	伊勢崎市			●
56	(主)あら町下室田線	高崎市			●
57	(主)あら町下室田線	高崎市			●
58	(主)伊勢崎深谷線	伊勢崎市			●
59	(主)一ノ宮妙義線	富岡市			●
60	(主)館林藤岡線	館林市			●
61	(主)桐生伊勢崎線	伊勢崎市			●
62	(主)高崎伊勢崎線	伊勢崎市			●
63	(主)高崎駒形線	高崎市			●
64	(主)高崎駒形線	高崎市			●
65	(主)高崎駒形線	高崎市			●
66	(主)高崎渋川線	高崎市			●
67	(主)高崎渋川線	高崎市			●
68	(主)高崎神流秩父線	高崎市			●
69	(主)高崎東吾妻線	東吾妻町			●
70	(主)佐野行田線	館林市			●
71	(主)寺尾藤岡線	藤岡市			●
72	(主)渋川松井田線	渋川市			●
73	(主)神田吉井停車場線	藤岡市			●
74	(主)前橋安中富岡線	前橋市			●
75	(主)前橋館林線	伊勢崎市			●
76	(主)前橋館林線	太田市			●
77	(主)前橋高崎線	高崎市			●
78	(主)前橋高崎線	高崎市			●
79	(主)前橋西久保線	前橋市			●
80	(主)前橋赤城線	前橋市			●
81	(主)前橋赤城線	前橋市			●
82	(主)前橋長瀬線	藤岡市			●
83	(主)前橋長瀬線	藤岡市			●
84	(主)前橋箕郷線	前橋市			●
85	(主)前橋箕郷線	高崎市			●
86	(主)大胡赤城線	前橋市			●
87	(主)藤岡大胡線	藤岡市			●
88	(主)藤岡大胡線	藤岡市			●
89	(主)藤岡大胡線	玉村町			●
90	(一)一本木平小井戸安中線	高崎市			●
91	(一)下久屋渋川線	昭和村			●
92	(一)下仁田小幡線	富岡市			●
93	(一)宮田吹屋線	渋川市			●
94	(一)桐生新田木崎線	桐生市			●
95	(一)駒形柴町線	伊勢崎市			●
96	(一)古戸館林線	大泉町			●
97	(一)佐野太田線	太田市			●
98	(一)山王赤生田線	館林市			●
99	(一)児玉新町線	高崎市			●
100	(一)小平下仁田線	下仁田町			●
101	(一)深津伊勢崎線	前橋市			●
102	(一)鳥山竜舞線	太田市			●
103	(一)津久田停車場前橋線	渋川市			●
104	(一)道木佐山沼田線	みなかみ町			●
105	(一)南新井前橋線	前橋市			●
106	(一)綿貫篠塚線	大泉町			●
107	(一)和田多中倉賀野線	高崎市			●

5. 事故危険区間の抽出(まとめ)

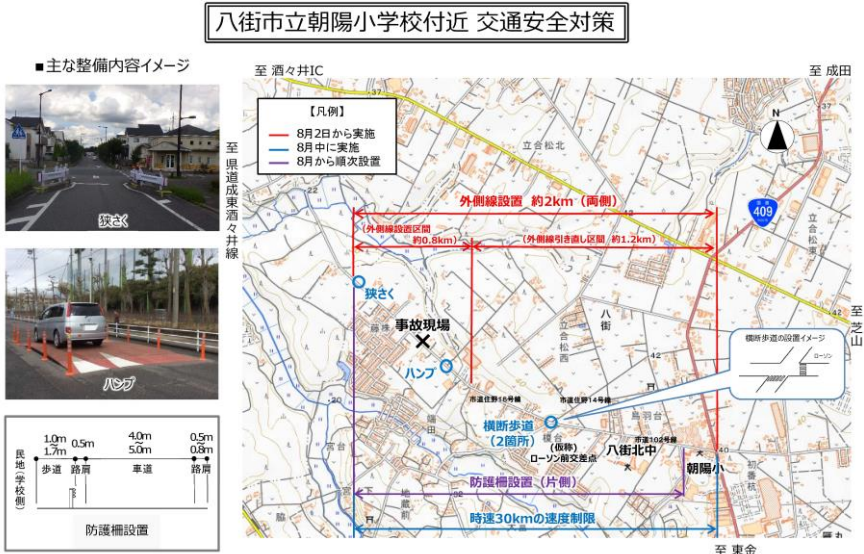
事故ゼロプラン3巡目区間位置図(県管理道路:107区間)



6. 交通安全対策に関するトピック

- 令和3年6月28日に千葉県八街市の通学路で、下校中だった小学生の列にトラックが突っ込み、2人が死亡、3人が負傷する事故が発生（緊急対策として、外側線や、狭さくおよびハンプの設置を決定）
- 政府では令和3年8月4日に開催した第2回交通安全対策に関する関係閣僚会議にて、9月末までに通学路の総点検を行い、10月末を目途に対策方針を作成することを決定
- 教育委員会や警察等と協力し、通学路等における交通安全の確保に向けた取り組みを推進

事故発生状況と対策方針



※詳細な設置位置等は沿道の方々等との調整により確定します。
※車道幅員5.0mは朝陽小学校前の幅員200mの範囲。

政府による緊急対策方針

通学路等における交通安全の確保及び飲酒運転の根絶に係る緊急対策（案）の概要 資料1-1

- #### 1. 通学路等における交通安全の確保
- (1) 通学路における合同点検の実施及び対策必要箇所の抽出
 - 全国の市町村（特別区を含む。以下同じ。）立小学校の通学路を対象に合同点検を実施。
 - 放課後児童クラブの来所・帰宅経路についても、市町村立小学校が行う合同点検を踏まえつつ、安全点検を実施。
 - これまで危険・要注意箇所として、道路が狭い、見通しが悪い等を例示していたところ、このような箇所に加え、**見通しのよい道路や幹線道路の抜け道となっている道路など車の速度が上がりやすい箇所や大型車の進入が多い箇所**
 - **過去に事故に至らなくてもヒヤリハット事例があった箇所**
 - **保護者、見守り活動者、地域住民等から市町村への改善要請があった箇所** **新たに合同点検箇所に追加**

等の観点も踏まえ、危険箇所をリストアップし、**合同点検及び対策必要箇所の抽出を令和3年9月末までを目途**に実施。
 - (2) 合同点検で抽出した対策必要箇所の対策案の検討・作成
 - (1)で抽出した対策必要箇所について、**令和3年10月末までを目途に対策案を検討・作成**。
 - 速度規制や登下校時間帯に限った車両通行止め、通学路の変更、スクールガード等による登下校時の見守り活動の実施等によるソフト面での対策に加え、歩道やガードレール、信号機、横断歩道等の交通安全施設等の整備等によるハード面での対策を適切に組み合わせるなど、地域の実情に対応した、効果的な対策を検討し、**可能なものから速やかに実施**。
 - (3) 子供の安全な通行を確保するための道路交通環境の整備の推進
 - **歩道の設置・拡充**、歩行者と自動車・自転車の利用空間の分離、**ガードレール等の防護柵などの交通安全施設等の整備**、無電柱化、踏切対策など、子供の視点に立った交通安全対策を推進。
 - 信号機の歩車分離化、信号灯器のLED化、**横断歩道の設置・更新、路側帯の設置・拡幅**、標識の高輝度化等を行うなど、子供の安全な通行空間を確保するための交通安全施設等の整備。
 - **ゾーン30をはじめとする低速度規制を的確に実施**するとともに、効果的に**ハンプ等の物理的デバイスの設置**を進め、通学路等における速度抑制・通過交通の進入抑制対策を推進。
 - **スクールゾーンを設定**するほか、**登下校時間帯に限った車両通行止め**をはじめとする各種交通規制を的確に実施するとともに、当該規制の実効性を確保するため、登下校時間帯に重点を置いた、交通事故抑止に資する交通指導取締りを推進。
 - (4) 「可搬式速度違反自動取締装置」の更なる整備の推進及び効果的な速度違反取締り
 - 幅員が狭い道路でも活用できる「可搬式速度違反自動取締装置」の更なる整備を推進するなどして効果的な速度違反取締りを行い、速度規制の実効性を確保。
 - (5) 子供を始めとする歩行者の安全確保のための交通安全教育・指導取締り
 - 横断する意思を明確に伝えるなど自ら安全を守るための交通行動を促す交通安全教育等。

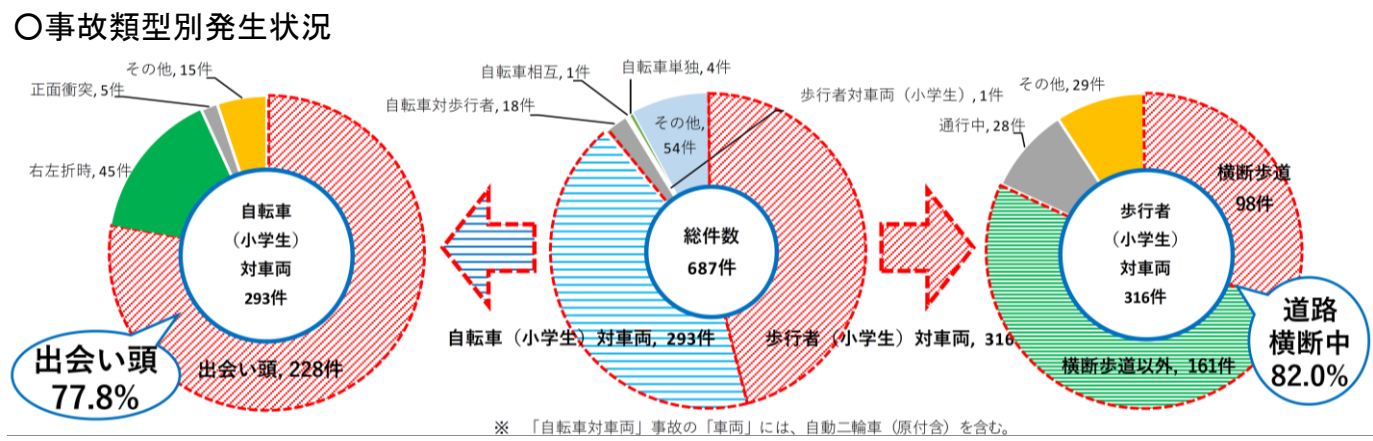
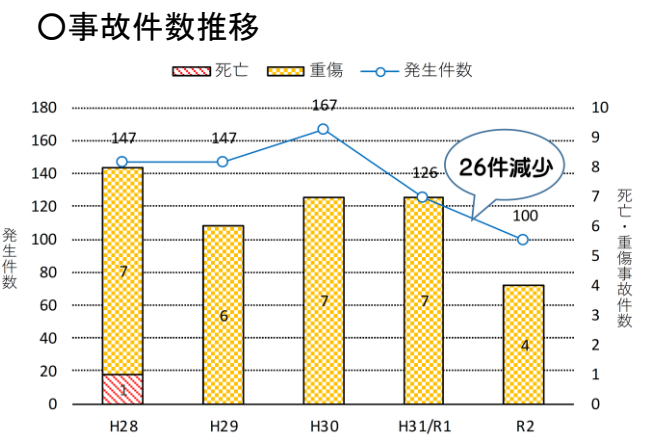
※1 区域を設定して最高速度30km/hの区域内における速度を規制するとともに、ハンプや狭さくといった物理的デバイスの設置による生活道路対策を推進するもの。

- (6) 登下校時の子供の安全確保
 - スクールガード・リーダーの活動に係る支援等スクールガードの見守り活動の支援、通学環境の違いや道路事情など地域の実情や特性が異なることに十分に配慮した地域公共交通やスクールバスの活用の検討等の通学環境の整備等、地域の特性・必要性に応じた対策を講じる。
- (7) 「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策」に基づく安全安心な歩行空間の確保
 - 引き続き取組を行うとともに、対策必要箇所のうち、対策未完了の箇所は、早期完了に向けて、対策の着実な実施を推進。

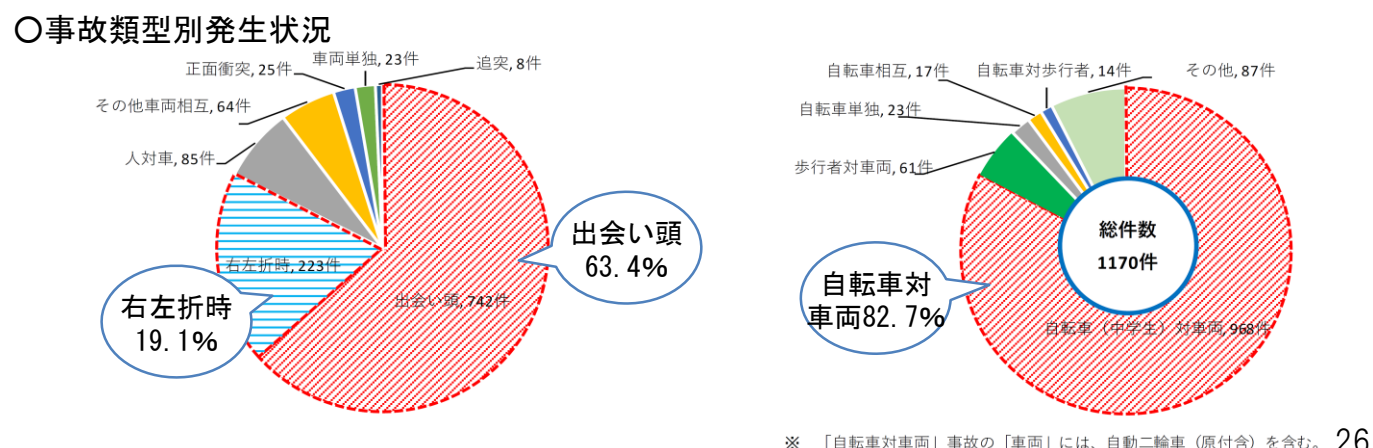
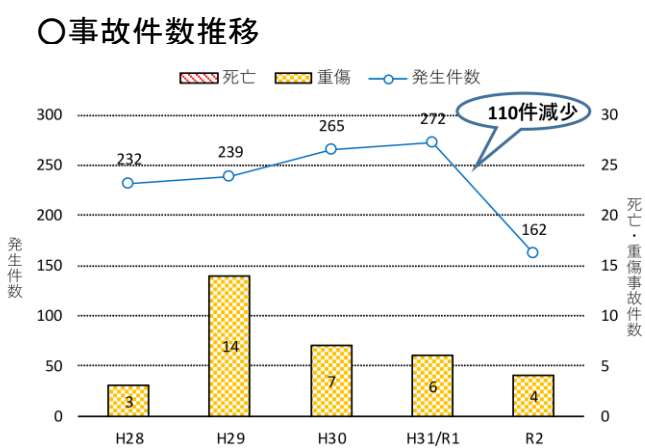
6. 交通安全対策に関するトピック

- 群馬県内の小学生が関係する事故は、過去5年間で減少傾向にあり、重傷事故は年平均6.2件発生。
- 歩行中、自転車乗車中の事故がほぼ半々で、歩行中は道路横断中、自転車乗車中は出会い頭が各8割。
- 群馬県内の中学生が関係する事故は、令和2年に大きく減少し、重傷事故件数も減少傾向。
- 自転車乗車中の事故が約8割で、出会い頭が約6割、右左折時が約2割。

<小学生が関係する交通事故発生状況(H28~R2)>



<中学生が関係する交通事故発生状況(H28~R2)>



【次回委員会の予定】

- ◆事故ゼロプラン(3巡目)の対策検討状況等の報告
- ◆事故ゼロプラン(1巡目)の整備後4年以上経過の対策効果の確認
- ◆事故ゼロプラン(2巡目)の対策効果の確認
- ◆交通安全対策の「トピック紹介」